

社員の皆さんへ

Ref.No. DTCS-23001-031(00WEB)
Dated: 2024-01-05

株式会社 **ダン・タクマ**
コーポレートサービス統括部
総務人事部

あけまして おめでとうございます。 本年も宜しくお願い致します。

本日、初出の日に 本社 4F 多目的フロアに於いて行われます 当社代表取締役喜多社長による年頭のご挨拶を下記の通りお知らせ致します。



記

2024 年 社長年頭の挨拶

新年あけましておめでとうございます。

2024 年、新しい年の仕事始めに際し 当社取締役を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

まず、此の新しい年が ダン・タクマ並びに社員の皆さん、ご家族の皆様、 更にはタクマグループにとりましても、幸多くとても良い年になりますように 心から祈念致します。

皆さんは このお正月を ご家族の皆さんと又はご友人の方々などと一緒に ゆっくりと穏やかな時間の中で過ごされたことと思います。平素より 大変な職務にご尽力戴いておられる皆さんにとってはとても有意義な年初のひと時であったなら大変嬉しく思います。

同時に 既にご存知の通り 新年 元日の夕刻、石川県能登地方を震源とする強い地震による大きな被害が発生しました。震災に遭われた地域の方々には 心よりお見舞いを申し上げる次第です。 更に 2日の夕刻には 被災地への救援物資を積んだ海上保安庁の機体が羽田空港で旅客機と衝突炎上する事故が発生するなど 思いもよらぬ心痛の年明けとなったのは 私ばかりではないものと想います。



ここに より一層、この新しい年も 皆さんとご家族の方々が元気に健康で安全に、そして幸せに過ごしてゆかれる事が 何にも優り大切な事であり、其れを支え 糧となる当社の事業が 持続可能な成長を末永く続けてゆく事が出来ます様に皆さんと一緒に頑張ってゆきたいと考える次第です。

さて、毎年 当社を取り巻く事業環境のエッセンスをお話致しますが、 数年来 パンデミックとして世界に大きな影響を与えてきた新型感染症・未曾有の変異株ウイルスも 昨年前半には季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行され 今後は個人の対処判断に委ねられる形で一応の収束を迎える事と

なりました。一方、所謂 米中貿易戦争・ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエル・パレスチナ問題によるガザ情勢の悪化等々の不安定な世界情勢はもとより 経済安全保障上の地政学リスクの高まりとグローバルサプライチェーンの分断など 当社を取り巻く事業環境は 依然 昨今では例を見ない大きな奔流の渦の中に在るものといえます。

そのような情勢の下、ここ数年来続いていた半導体産業分野の活況も 2022 年度にはピークアウトし、市況は停滞期に入り その底打ちは概ね 2025 年になると言われています。

昨今の当社の状況を振り返れば 2020 年度を事業運営のターニングポイントとして 従来とは異なるサイズ感での事業成果の獲得を為し、ご存知の通り 2021 年度から現行第 13 次中期経営計画の開始を以って 当社事業の持つ持続的成長のポテンシャルの可視化・顕在化に取り組み 2020 年度～2022 年度まで 3 期連続で過去最高益の事業成果獲得となりました事は 皆さんによる 経営計画の基本方針に則る業務遂行へのご尽力の賜であり この場を借りて敬意を表したいと思えます。

また、今年度は タクマグループ第 13 次中期計画の最終年度であり 当社に於いても 現行中期計画の総括を行うと同時に、 現在は新中期計画策定ワーキングチーム (略称) の皆さんに、 第 14 次新中期経営計画の基本方針と重点項目に関する実施施策の策定をお願いしています。

これ等は 当該業界分野の市況停滞状況下にあっても グループ新中期経営計画の成長ストーリーへの取り組みへと繋がり、 当社事業の持続可能な成長・拡大の成果獲得を 第 15 次中期計画に於いて具現化し 2030 年度に及ぶグループの長期展望 Vision 2030 に於ける当社の設定目標の達成を具現化させ、将来に亘る持続可能な成長と在りたい姿への推進を力強く助勢するものと期待しています。

さて、その様な状況の中で この新しい年の仕事始めに際し 当社の事業遂行にあたり 毎年繰り返し皆さんにお願いしている事項を 本年も確りと心がけて戴くようお願いしておきたいと思えます。

先ず一つ目は 既にお馴染みになりましたが

現行中計基本方針に於いても また次期新中期経営計画に於いても重点課題としております：

初動に於ける基本方針の設定と予定獲得成果の可視化・
共通認識化、方針に基づく施策策定と実施の徹底

この事項を 改めて取締役をはじめ 全社員の皆さんにお願いしておきたいと思えます。重要事案については勿論の事、事の大小に拘らず総ての業務遂行に適用すべき基本事項です。

総てに於いて 初動重視の判断と業務遂行を意図しますが、 その初動で重要な判断と獲得成果の明確化を適正に行うために必要となる十分な情報の獲得や 決裁者・判断を導くべき立場の者の経験・知見知力・判断能力の向上を為し、危険要因分析・リスク管理の概念を以って 必要な際は危機管理を適正に機能させ 獲得すべくして予定通りの成果を安定的に獲得する様に最大の尽力をして戴きます。

二つ目は

社員・部署間の緊密な連携とコミュニケーションの実現

この事項に常に意識を以って努めて戴きたいと思えます。

既に言い尽くした事項ではありますが 当社には職歴やバックグラウンドの異なる社員・役員の方々が共に働いておられます。その様な内部環境の中で 各々が理解をせず敬意を以って接する事を怠れば それらは阻害要素でしかなくなりますが、相互に多様な考え方を懐深く尊重し一丸となって目標に向かえば 大きな力を生み出す有機的な連携ができるものと確信しております。

さて、三つ目の項目となりますが

ひとりひとりが勇気をもって前に進む努力をする

先達により築かれた当社の存在については十分な敬意を以って、同時に 従前への過度な依存・踏襲や傾倒を良しとせず 中長期の経営計画方針に従い ありがたい姿に向けてプレゼンスを確立すべく社員・役員が一丸となって力を尽くして戴きたいと思えます。

今年から 昨今に於いては3つ目となる新しい中期経営計画の下で 皆さんに業務の遂行を戴くこととなります。社員の皆さんの中から組織横断的に職制権限を越えて参集戴いたワーキングチーム、特に新人事・等級・評価・報酬制度の改変再構築の下での運用と定着を目的とする皆さんと 新中期計画方針策定ワーキングチームの皆さん相互の連携により新中期計画に於ける重点項目の実施策と評価制度の核となる業務目標の明確な連動の具現化をお願いしています。

この機会を得て 総ての社員の皆さんに 新中期経営計画の目標達成に向けて文字通り全員参加で鋭意注力戴き 当社事業の持続可能な成長と在りたい姿への到達の為に力を合わせて積極的に協働して戴きたいと願っています。

本年、2024年の干支は「甲辰（きのえたつ）」であり 二つの語の意味を合わせますと「成功という芽が成長してゆき 姿を整えてゆく」といった縁起のよさを表しているという見方をするようです。中期経営計画の中心となって従前踏襲では越えられない課題に取り組み 問題と対峙しながら現状打破の成果獲得に邁進されておられる皆さんには 「龍の水を得る如し（りゅうのみずをえるごとし）」に更なるご活躍を戴きたい、心機一転 此れから持続可能な事業成長の為の取り組みに大きく踏み出そうとしておられる皆さんには「蛟竜雲雨を得（こうりょううんうをう）」が如く この機を以って飛躍の足掛かりにして戴きたいと そのように思えます。

末尾になりましたが 本年も 取締役一同、当社の事業の持続的成長とその実現の為に誠実に力を尽くし 社員の皆さんと協力し よりよい会社の将来に向けて努力致す所存でございます。どうぞ 本年も宜しくお願い致します。

代表取締役社長 喜多由樹

